

1. 件名

湖南省地震ハザードマップの作成について

2. 趣旨など

滋賀県は、琵琶湖周辺に多くの活断層が存在しており、内陸直下型地震が発生する可能性は極めて高い状況といわれています。この中でも、琵琶湖西岸断層帯では、マグニチュード 7.8 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内の地震発生確率が 0.09 ～ 9 % と、わが国の主な活断層の中では高いグループに属しているため、地震に対して十分な備えと防災対策が必要です。

また、滋賀県に被害をもたらすとされる他の地震の発生確率は、東南海地震が 60%、南海地震が 50% と予測され、さらに東海地震にいたっては「いつ発生してもおかしくない」とされています。

昨年 3 月末には、能登半島地震、4 月には三重県中部地震が発生し湖南省でも震度 3 を観測し、大きな揺れを感じたところですが、今年 5 月に発生した中国の四川大地震や 6 月の岩手・宮城内陸地震では大きな被害をもたらしたことは記憶に新しいところです。

湖南省では、発生が想定される大地震による揺れや被害の見込みの中心とする情報を市民の皆様に伝えることで、普段から地震に対する防災意識を持っていただくことと、木造住宅をはじめとする建築物の耐震化を促進することを目的として地震ハザードマップを作成しました。

この地震ハザードマップは「揺れやすさマップ」と「地震危険度マップ」の二面構成で、揺れやすさマップは想定される震度の分布を、地震危険度マップは建物の全壊率を示した図面です。

サイズは、広げると A 1 サイズ、折りたたむと A 4 サイズになり、コンパクトになっています。

3. 配布日

平成 20 年 9 月

4. 配布先

市内全世帯（区配布、窓口配布）、公共施設、公共機関

5. 内容

A 1 サイズ表裏カラー印刷（折りたたむと A 4 サイズ） 保存版
「揺れやすさマップ」と「地震危険度マップ」

印刷枚数 27,000 枚

印刷経費 546,000 円（国庫補助 273,000 円）

6. 問い合わせ先

産業建設部住宅課 TEL:0748-71-2349